

内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)を受けられる方へ

入院診療計画書

患者番号:
患者氏名:

様

日付	検査治療前日	検査当日(7/24)		検査治療1日目	検査治療2~3日目
目標	・検査や治療計画がわかる	・検査や治療計画がわかる	・痛みが軽減する ・腹部の張りがない	・痛みが軽減する ・腹部の張りがない	・痛みが軽減する ・腹部の張りがない ・日常生活の注意点について理解できる
内服	・中止を指示された薬を除いて、いつも服用している薬はのんでください	・許可のある薬は朝7時までに内服してください ・医師の指示に従ってください		・薬は医師の許可が出たら内服してください ・中止を指示された薬の再開に関しては医師の指示に従ってください	・通常どおり内服して下さい ・中止を指示された薬の再開に関しては医師の指示に従ってください
注射		・右手に点滴の針を入れます ・検査治療前から点滴をゆっくり開始します	・点滴があります 	・点滴があります	・問題なければ検査後2日目に点滴の針を抜きます
検査			・検査4時間後に採血があります	・朝、採血があります	
処置		・検査治療にでる前に義歯や眼鏡などの金属類や湿布、ピップエレキバンははずしてください ・貼り薬を使用している場合は医師の指示に従ってください ・ボタンのついたシャツやパジャマは着がえていただきます ・弾性ストッキングを着用します	・病室に戻ったら、酸素吸入・心電図モニター・酸素モニターをつけます ・時間毎に体温・脈拍・血圧を測定します ・血栓予防のため、下肢の運動をしてください	・酸素吸入を中止します ・医師の回診後、許可があれば心電図モニター、弾性ストッキングを外します	
食事	・午後9時以降は、飲んだり食べたりできません	・飲んだり食べたりすることはできません(内服時の水分は大丈夫です)	・食べたり飲んだりできません ・喉のしびれがとれたらうがいができます	・医師の許可が出れば水分(水・お茶)が摂取できます	・2日目:朝 3分粥 昼 5分粥 夕 全粥 ・3日目:朝~米飯
活動	・制限はありません		・トイレ以外はベッド上安静です	・病棟内安静です	・制限はありません
排泄		・検査に出る前に排尿をすませてください ・オムツを装着します ・医師の指示があれば尿の管を入れます	・薬の影響でふらつきが強い状態です ・トイレに行きたいときはナースコールを押してください ・看護師と一緒に移動します	・歩行できます ・ふらつきがある場合は看護師が見守りますのでナースコールを押してください	
清潔	・制限はありません			・身体を拭きます	・2日目:シャワーできます ・3日目:入浴できます
説明	・同意書を提出してください ・オムツを1枚用意してください	・ご家族の方が待機される場合は、内視鏡室にてお待ちください		・検査後お薬の影響でのどが渇いたり、尿が出にくいことがあります、数時間でよくなります	・問題なければ検査治療後3日目に退院予定です

※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかない事もありますのでご了承ください。 福井県立病院 消化器内科 内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)を受けられる方へ 2024年7月改訂

主治医名 担当医名 主治医以外の担当者:看護師

管理栄養士 栄養管理の必要性 有り リハビリ担当:

上記について説明を受けました 署名 ご本人以外の場合患者様とのご関係()